

3 病虫害防除指導

(1) 病虫害防除手法等に関する相談

生産者、県等指導機関（農協、市町村、農林振興センター）、一般県民他から依頼のあった28件の病虫害診断や防除手法に関する相談に対応した。

相談の種類	相談者区分（人数）				
	生産者	県等指導機関	一般	その他（業者）	計
病虫害（水稲・麦）	1	0	0	2	3
病虫害（野菜）	3	3	1	2	9
病虫害（果樹）	1	1	7	1	10
病虫害（茶）	1	0	0	0	1
病虫害（花植木）	0	0	2	2	4
農薬・その他	0	0	1	0	1
計	6	4	11	7	28

(2) 無人ヘリコプターによる空中散布等の防除指導

農林水産航空事業実施指導要領及び無人ヘリコプター利用技術指導指針に基づき、県内の6,965.5haで無人ヘリコプター等による空中散布が行われた。このうち、無人マルチローター（ドローン）による散布も156.8haで実施された。

水稲ではいもち病、紋枯病、ウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類等の病虫害防除のため3,588.2ha、麦類では赤かび病等の病虫害防除のため2,976.8ha、大豆では紫斑病、カメムシ類、ハスモンヨトウ等の病虫害防除のため176.0haであった。これら作物の延べ散布面積は6741.0haで前年に比べ247.8ha減少した。また、その他として水稲の播種・追肥及び除草剤散布が67.7ha、ゴルフ場の害虫防除154.6haであった。これらの実施に当たり、予察情報による農薬の選定や安全な実施体制の啓発など実施主体に対し適切な防除指導を実施した。

(3) 農薬展示ほ設置等に関する指導

埼玉県植物防疫協会が実施した農薬展示ほ等の設置について、設計の作成及び成績検討会（書面開催）における農薬の防除効果の検証等に協力した。

(4) 研修会等の指導

ア 病虫害防除員・防除協力員研修会の実施（書面開催）

日時：令和5年3月1日（水）（研修資料配布）

対象者：防除員・防除協力員等 16人

内容：令和4年度に発生した病虫害、病虫害防除員の業務について等

イ 普及指導員を対象とした専門研修「病虫害」における講師

日時：令和4年10月4日（火）

対象者：農林振興センター（技術普及担当）職員等 13人

内容：①農薬取締法の概要 ②農薬の適正使用、保管

ウ 埼玉県農薬適正使用アドバイザー研修会における講師

日 時：令和4年10月26日(水)

(さいたま市浦和区、さいたま共済会館・サテライト会場)

対象者：農薬適正使用アドバイザー等 225人

内 容：病害虫の生理・生態と防除

エ 令和4年度農業技術研究センター研究成果発表会

日 時：令和5年1月30日(月)(WEB開催)

対象者：生産者、一般県民、県関係者

内 容：予察調査からみえるカメムシ類の発生動向

(5) 防除対策資料等の作成

国が平成25年4月26日に発出した「住宅地等における農薬使用について」の通知に基づき、住宅地、学校、病院等の近くで農薬を使用する際の事前周知等、危被害防止徹底を図るための啓発チラシを作成し、自治会等への幅広い配布・回覧による周知を図った。

サツマイモ基腐病対策、クビアカツヤカミキリ対策、ウメ輪紋ウイルス(PPV)対策、ジャンボタニシ対策、農薬適正使用推進など農産物安全課の資料作成に協力し、現地の防除指導に活用した。